養護教諭

解答はすべて解答用紙に書きなさい。

［1］次の（1）～（8）に答えなさい。

（1）次の文は，「学校保健安全法」の条文である。文中の（①）～（⑥）に当てはまる語句を書きなさい。

> 第９条
> 養護教諭その他の職員は，相互に連携して，（ ① ）又は児童生徒等の健康状態の日常的な（ ② ）により，児童生徒等の（ ③ ）の状況を把握し，健康上の問題があると認めるときは，（ ④ ）なく，当該児童生徒等に対して必要な（ ⑤ ）を行うとともに，必要に応じ，その保護者（学校教育法第16条に規定する保護者をいう。第24条及び第30条において同じ。）に対して必要な（ ⑥ ）を行うものとする。

（2）「学校保健安全法施行規則」第20条（出席停止の報告事項）に示されている，書面に記載する事項について，（①）～（④）に当てはまる語句を下のア～ケからそれぞれ１つずつ選び，記号で書きなさい。

> 1 （ ① ）の名称
> 2 出席を停止させた（ ② ）及び期間
> 3 出席停止を指示した（ ③ ）
> 4 出席を停止させた児童生徒等の（ ④ ）
> 5 その他参考となる事項

ア 感染症　イ 学年別人員数　ウ 年月日　エ 氏名　オ 医療機関
カ 学校　キ 医師　ク 理由　ケ 自治体

（3）次の文は，「保健主事のための実務ハンドブック　令和２年度改訂」（令和３年３月　日本学校保健会）に示されている，学校保健に関する評価の実施について一部抜粋したものである。（①）～（④）に当てはまる語句を書きなさい。

> 学校保健計画の作成及び改善
> ・ 学校保健計画が（ ① ），保健管理及び組織活動を含む総合的な（ ② ）となっているか。
> ・ （ ① ），保健管理及び組織活動に関する内容がもれなく盛り込まれているか。
> ・ 教職員の（ ③ ）が反映されているか。
> ・ 児童生徒や（ ④ ）の実態等が反映されているか。
> ・ 前年度の学校保健に関する評価の結果が生かされているか。

（4）学校における健康診断について，次の①～③に答えなさい。

① 次の文は，「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成27年度改訂」（平成27年８月　日本学校保健会）に示されている，学校における健康診断の目的と役割について抜粋したものである。文中の（ア）～（オ）に当てはまる語句を書きなさい。

> 学校保健安全法では，学校における児童生徒等の健康の保持増進を図るため，学校における（ ア ）について定めており，学校における健康診断は，この中核に位置する。また，学習指導要領解説特別活動編において健康安全・体育的行事として例示されており，（ イ ）として実施されるという一面も持っている。このことから学校における健康診断は，（ ウ ）における健康観察を踏まえて，学校生活を送るに当たり支障があるかどうかについて疾病を（ エ ）し，健康状態を把握するという役割と，学校における健康課題を明らかにして（ オ ）に役立てるという，大きく二つの役割がある。

② 次のア～エは，脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無の検査における，背骨が曲がっているか検査をする際のチェックポイントである。（a）～（d）に当てはまる語句を書きなさい。

ア 両肩の高さに差がある。
イ 両肩甲骨の高さ・（ a ）に差がある。
ウ 左右の（ b ）の曲がり方に差がある。
エ （ c ）した左右の（ d ）の高さに差がある。

③ 成長曲線を描くことの意義を３つ書きなさい。

（5）次の文は，「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」（令和３年５月　環境省・文部科学省）に示されている暑さ指数（WBGT）について一部抜粋したものである。文中の（①）～（③）に当てはまる語句を書きなさい。

> 暑さ指数（WBGT：Wet Bulb Globe Temperature：湿球黒球温度）は，熱中症の危険度を判断する環境条件の指標です。このWBGTは，（ ① ）と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目し，熱収支に与える影響の大きい気温，（ ② ），日射・（ ③ ）など周辺の熱環境，風（気流）の要素を取り入れた指標で，単位は，気温と同じ℃を用います。

（６）「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン　令和元年度改訂」（令和２年３月　日本学校保健会）に示されている，アレルギー疾患に関する内容について，次の①～③に答えなさい。

① 運動に関連したアレルギー疾患を３つ書きなさい。

② 含有成分の性質上，求められるエピペン®の保管方法を２つ書きなさい。

③ アナフィラキシー症状を一時的に緩和し，ショックを防ぐために，エピペン®にはアドレナリンが充填されている。アドレナリンには，どのような作用があるか，書きなさい。

（７）やけど（熱傷）について，次の①～③に答えなさい。

① Ⅱ度熱傷の外見上の症状は何か，書きなさい。

② Ⅱ度熱傷の場合，皮膚組織のどの部位まで損傷しているか，書きなさい。

③ 熱傷の応急手当についての説明として，正しいものを，次のア～オからすべて選び，記号で書きなさい。

ア 顔面，指や手足の関節，陰部などの熱傷の場合は，119番通報を行う。

イ 体の広い範囲の熱傷は，全身の体温が下がる程度，流水で冷やす。

ウ 衣服を脱がせることで熱傷面の状態が悪化する可能性がある場合は，衣服を脱がさずに衣服ごと熱傷面を冷やす。

エ 医療機関を受診する前には，診療の妨げになる場合があるため，やけどの創面に軟膏や油等を塗布する必要はない。

オ 熱傷面は十分冷やした後，感染を防ぐため，粘着性のある冷湿布で覆う。

（８）感染症に関する内容について，次の①～④に答えなさい。

① 髄膜炎菌性髄膜炎についての説明として，正しいものを，次のア～オからすべて選び，記号で書きなさい。

ア 髄膜炎菌による細菌性髄膜炎である。

イ 発熱，頭痛，嘔吐を主症状とする疾患である。

ウ 現在は抗菌薬が発達しており，発症した場合も後遺症や死の危険性はなくなった疾患である。

エ 感染経路は，節足動物媒介感染である。

オ 第二種感染症である。

② 髄膜炎菌性髄膜炎の出席停止の期間の基準を書きなさい。

③ アタマジラミ症についての説明として，正しいものを，次のア～オからすべて選び，記号で書きなさい。

ア 頭皮に寄生し，頭皮に皮膚炎を起こす疾患である。

イ アタマジラミ症の治療中は，プールに入ることは禁止である。

ウ 病原体であるアタマジラミは，ケジラミやコロモジラミとは異なるシラミである。

エ 一般に無症状であるが，吸血部位にかゆみを訴えることがある。

オ 病原体であるアタマジラミの産卵からふ化までは５～７日である。

④ アタマジラミ症の感染拡大を防止するための方法を３つ書きなさい。

[２]登校途中に転倒し，下顎を強打した小学校高学年の児童が，口から出血した状態で抜け落ちた前歯を持ち，保健室に来室した。次の（１），（２）に答えなさい。

（１）養護教諭としての視診や触診の内容を３つ書きなさい。

（２）抜け落ちた歯を速やかに歯科医療機関で再植するために，応急手当を行う際の留意点を３つ書きなさい。

[３] 中学校２年生の薬物乱用防止教室を養護教諭が企画・運営することになった。次の（１），（２）に答えなさい。

（１）「薬物乱用防止教室マニュアル　平成26年度改訂」（平成27年３月　日本学校保健会）に示されている，薬物乱用防止教室の進め方の基本方針を３つ書きなさい。

（２）医薬品の乱用防止についての話を養護教諭が行うことになった。養護教諭としてどのように生徒に話をするか，具体的に書きなさい。

[４] 摂食障害の疑いがある生徒への対応について，次の（１），（２）に答えなさい。

（１）健康診断の結果から，１年間で体重が７kg減少した女子生徒が確認された。その生徒に健康相談を行ったところ，所属している陸上部の先輩から「減量するとタイムが上がる。」と言われ，食事を抜いていることがわかった。その生徒から，「はじめは順調に体重が減り，タイムも伸びたが，今はからだに力が入らず，タイムも下がっている。」と相談された。この生徒に対して，養護教諭としてどのように話をするか，具体的に書きなさい。

（２）摂食障害の一つである神経性食欲不振症について，厚生労働省が示す診断基準を２つ書きなさい。

[５] 保健室に来室した小学校６年生児童から，性的虐待を受けていると打ち明けられた。そして「このことは誰にも言わないでほしい。」とお願いされた。この時，養護教諭としてどのようなことに留意して児童に対応するか，４つ書きなさい。

受検番号		氏　名	

得　点			

養護教諭解答用紙（解答例）

[1]

(1)	①	健康相談	（3点）	②	観察	（3点）	③	心身	（3点）		
	④	遅滞	（3点）	⑤	指導	（3点）	⑥	助言	（3点）		
(2)	①	カ	（2点）	②	ク	（2点）	③	ウ	（2点）	④	イ　（2点）
(3)	①	保健教育	（3点）	②	基本計画	（3点）					
	③	意見	（3点）	④	地域社会	（3点）					
(4)	①	ア	保健管理	（3点）	イ	教育活動	（3点）	ウ	家庭	（3点）	
		エ	スクリーニング	（3点）	オ	健康教育	（3点）				
	②	a	位置	（2点）	b	脇線	（2点）	c	前屈	（2点）	d　背面　（2点）
	③	一人一人の児童生徒等特有の成長特性を評価できる。									（3点）
		児童生徒等及び保護者が成長の変化を容易に理解できる。									（3点）
		低身長，高身長，性早熟症といった病気等を早期に見つけることができる。									（3点）
(5)	①	人体	（3点）	②	湿度	（3点）	③	輻射	（3点）		
(6)	①	運動誘発アナフィラキシー	（2点）	食物依存性運動誘発アナフィラキシー	（2点）						
		運動誘発ぜん息	（2点）								
	②	携帯用ケースに収められた状態で保管する。									（3点）
		15～30℃で保管する。									（3点）
	③	血圧を上げる。									（2点）
(7)	①	水ぶくれ	（3点）	②	真皮	（3点）	③	ア，ウ，エ	（完答3点）		
(8)	①	ア，イ，オ	（完答3点）								
	②	症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで									（3点）
	③	ア，ウ，エ	（完答3点）								
	④	虫卵の早期発見と駆除									（3点）
		タオル，くしや帽子の共用を避ける。									（3点）
		着衣，シーツ，枕カバー，帽子などは洗うか，熱処理を行う。									（3点）

受検番号		氏　名	

養護教諭解答用紙（解答例）

[2]

(1)	歯の外傷の確認	（3点）
	口の中の粘膜の外傷の確認	（3点）
	顎関節の外傷の確認	（3点）
(2)	歯冠部を持つようにし，歯根を持たないようにする。	（3点）
	水道水で洗わない，砂や泥がついている場合は洗いすぎたりこすったりしない。	（3点）
	歯の保存液あるいは牛乳に入れて保存する。	（3点）

[3]

(1)	講師の専門性が十分に生かされるよう工夫する。	（2点）
	学校における薬物乱用防止教育の一環として行う。	（2点）
	薬物乱用を始めさせないことを主なねらいとする。	（2点）
(2)	医薬品には病気を治したり，症状を軽くしたりする働きがあります。 一方，早く治したい，ストレスや不安を和らげたいなどの理由で，決められた量よりも多く薬を飲んだり，作用の違う薬を一緒に飲んだりすると，吐き気やめまいなどの副作用が起こったり，命の危険につながったりすることもあります。また，薬を使い続けることで効果を感じにくくなり，徐々に使う量が多くなる依存症も心配です。 医薬品は，用法（使用回数，使用時間など），用量を守り，正しく使用しましょう。 悩みや不安がある時は，安易に薬に頼るのではなく，まずは話しやすい人に相談してみてください。保健室に来室してくれればいつでも話を聞きますよ。（16点）	

[4]

(1)	からだに力が入らないのは心配ですね。あなたの健康状態が何よりも心配です。症状の背景に病気が隠れていることもあります。 からだのことや困っていることを詳しく聞かせてくれますか。 健康を守るために一緒に考えていきましょう。自分だけの力で解決することが難しいときは，様々な人の力を借りることも大切です。お家の人や部活の先生，担任の先生など，きっとあなたの味方になってくれるはずです。私から話してみても構いませんよ。 心配や不安なことがあったら，いつでも保健室に来てください。私からも様子を見て声をかけますね。（16点）	
(2)	不食，大食い，隠れ食いなどの食行動の異常	（4点）
	体重増加に対する極端な恐怖などの体重や体形についての歪んだ認識	（4点）

[5]

児童が，心理的苦痛・恐怖・不安と，決死の思いをもって話していることを理解すること。	（4点）
児童に罪がないことを話し，安心させること。	（4点）
児童を守るために他の人の助けが必要であることを説得すること。	（4点）
児童から聞いた話をそのまま記録すること。	（4点）